

脳梗塞・心筋梗塞のリスク検査のご紹介 LOX-index®(ロックス・インデックス)

オプション検査費用：¥14,600(税別)

脳血管疾患・心疾患の年間の死亡者数はがんと同水準。
「4人に1人」が動脈硬化を一因とする疾患で亡くなっています。

脳梗塞・心筋梗塞を
“発症させない”ためには・・・



脳梗塞

社会へ復帰できるのは
「3人に1人」

3人に2人は死亡か重度の後遺症に



心筋梗塞

働き盛りの突然死。
「約7割」は
心筋梗塞が原因です。



早くからの予防(生活習慣改善等)
がとても大切です。

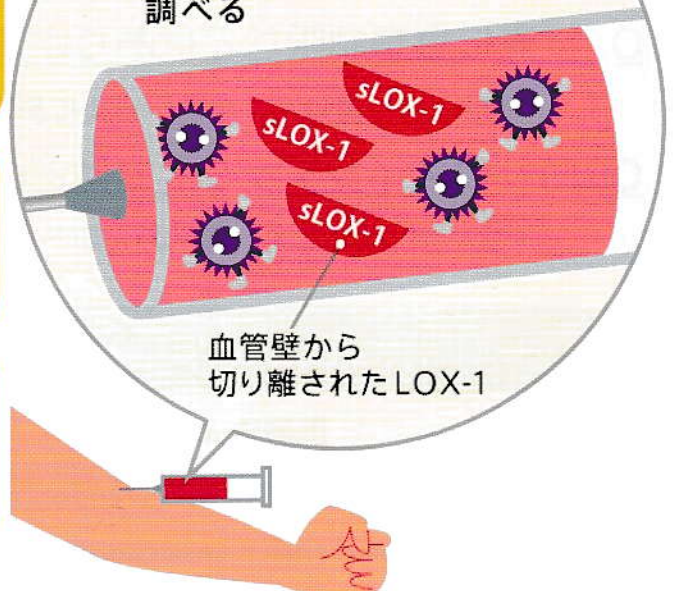
検査の特徴

動脈硬化の原因物質を測定
(酸化変性LDLとsLOX-1)

採血(約2ml)で検査可能

別紙での検査報告レポート
(約2~3週間での発行)

血液中に隠れている、
動脈硬化の原因物質の量を
調べる



血管壁から
切り離されたLOX-1

結果報告書 (サンプル)

発症リスクのレベルを
分かりやすくグラフで記載。

生活習慣改善のための
アドバイス別冊子つき

LOX-index®、総悪玉・心筋梗塞発症リスク検査報告書

★氏名 demo ★受診日 2014/12/24
★カルテID 000001 ★性別 男性 ★年齢 45

総合評価グラフ

脳梗塞・心筋梗塞発症リスクは **中** です。

総合評価コメント

総悪玉コレステロールLAB、総悪玉コレステロールの相手LOX-1がともに少し高めの結果で、血管障害リスク（血管が傷み易い方向に傾いていると考えられます。高血圧、高血糖、肥満、喫煙などの動脈硬化リスクを持っている人は、治療や生活習慣の改善によってリスクを抑える必要があります。LOX-1は炎症で上昇しますので、体内に炎症の兆候がある可能性があります。また、LABは元で活性酸素が発生することで、悪玉コレステロール(LDLコレステロール)が酸化しやすくなります。これらは食生活、運動習慣によって改善できますので、生活習慣を見直しましょう。状態把握のためにも、一年後の再受診をおすすめします。

個別時系列データ

sLOX-1

LAB

LOX-index

解説

総悪玉コレステロールの相手LOX-1は、血液中から異物を取り除く働きをしています。血管に障害が起こるとLOX-1の生成が促進されるため、LOX-1は血管障害の指標として利用されています。

今回の結果は、前回と同様にLOX-1の値が少し高い状態です。LOX-1は血中から異物を取り除く働きをしているため、酸化LDLなどに代表される動脈硬化の要因物質が多く、血管の炎症が起こっていると考えられます。

この状態を改善するには、ストレスを避けることが必要です。メンタルストレスのほか、酸化ストレスにも注意して下さい。食を中心とした生活習慣の改善をお願いします。

脳梗塞の仕組み

脳梗塞の予防

脳梗塞のリスク

脳梗塞の検査

脳梗塞の治療

脳梗塞の予防と治療

検査結果に対する総合的な
コメントや改善の方向性を提案。

過去の検査結果からの
推移も一覧できる解説付き。

よくあるご質問

Q. ロックスインデックスでは何を調べているの？

血液中の酸化した“超悪玉コレステロールLAB”と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませるタンパク質“LOX-1”の量を測定しています。検査によって得た測定データを“過去の臨床データ”と照らし合わせることで将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症リスクを調べています。

Q. 通常健康診断では問題がなかったが・・・

健康診断は病気になっていないかを早期に見つけるものです。ロックスインデックスでは病気になっていない段階から、将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症リスクを調べることができます。

Q. 検査に食事制限などはありますか？

制限はありません。食前や食後に影響なく受診頂けます。

Q. ロックスインデックスではどのくらい採血されるのですか？

約2~4ml程度です。通常人間ドック・健康診断に併せてご受診頂くことが可能です。